



『難波宮の鍛冶屋』

2005年11月、大阪府防犯協会連合会の優良防犯用品として『かて一な!!』バイク盗難防止チェーンを認定していただきました。その帰り道、近くにあった大阪歴史博物館に立ち寄り、古代の鍛冶屋の復元図を見つけました。大阪城を見下ろすこの博物館は難波宮（645年～）の遺跡上に建っています。ここからは色々な物が出土、前期難波宮の南西に隣接する斜面地（※）では炉跡（ろあと）が見つかり、多数の鉄滓（てっさい）・ふいごの羽口（はぐち）・トリベ・金床石（かなとこいし）など鍛冶関連の遺物も出土しました。その工房で作られた金属製品は鉄斧（てっふ）・鎌・鉄釘などです。

大和王権が力をつけて行くためには、交通の要衝であった難波の地を押さえ鉄の流通を掌握する必要があったのです。当時は宮の間近まで大阪湾が迫っていました。しかも大阪平野には広大な入江が広がり、大小無数の島々が浮かんでいたと言われていています。岬状に突き出た上町台地の北端に位置する難波宮は、ちょうど外海と内海との出入口を占め、宮からは広大な海原が眼下に収められました。このような地理的条件から、難波は畿内と西国諸国とを結ぶ交易の中心だったのです。



出土品

金床石 鉄滓



羽口 トリベ

大阪城を望む



大化の改新の舞台の1つ。「難波長柄豊崎宮」

飛鳥板蓋宮での蘇我入鹿暗殺（乙支の変＝645年6月）に始まる大化の改新。その際、孝徳天皇が遷都したのが難波宮（難波長柄豊崎宮＝645年12月）です。難波の宮はそれ以来、8世紀末までの約180年間、首都としてまた副都として日本の古代史に大きな役割をはたしました。

※ 大阪府中央区谷町5丁目。飛鳥時代7世紀中頃。

参考ホームページ

<http://www.asahi-net.or.jp/~sg2h-ymst/naniwa.html>

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamonoya.co.jp/>
ryou@memenet.or.jp

むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください!!